

巻頭言

電子ジャーナル「理学療法学教育」の発行に向けて

全国大学理学療法学教育学会
理事長 大西秀明
(新潟医療福祉大学)

全国大学理学療法学教育学会（本会）は 2007 年に設立され、2013 年に一般社団法人化されました。本会では4年制大学及び大学院における理学療法学教育のあり方についての議論を深めるため、2007 年の設立時から毎年学術大会を開催するとともに、学術誌「理学療法学教育」を発刊して参りました。

今年で 16 回目を迎える「学術大会」は、全国から参加者が集い議論を深める場になっています。一方、学術誌への論文投稿は決して多くない状況が続いております。そのため、この度、新たに編集委員会を再組織化するとともに学術誌を電子ジャーナル化することに致しました。学術誌としては第 6 巻になりますが、電子ジャーナルとしては初巻にあたる記念すべき巻であります。昨今の社会情勢の急速な変革と DX の進展、教育のデジタル化の充実、世界中の学術誌の電子化とオープンアクセス化に比べて、極めて遅い決断だったと認めざるを得ませんが、第一歩を踏み出したこと、大変嬉しく思います。

高齢化の進展に伴う医療需要の増大等により、理学療法士に求められる知識や役割等が大きく変化していることに対応するため、2020 年度に 21 年ぶりに指定規則が改定されました。今後も社会の変革は益々加速することが予想されますので、その変化を見据えた理学療法学教育の進展が必要です。指定規則はあくまでも最低基準の規則であり、規則で定められているもの以上に、時代に即した各大学独自の理学療法学教育が求められます。まさしく、理学療法学教育のターニングポイントとも言える時期にさしかかっているのではないのでしょうか。

学術誌「理学療法学教育」の電子ジャーナル化を機に、理学療法学教育のあり方についての議論が深まり、社会の変革に即した理学療法学教育の深化、進展に少しでもつながれば幸甚です。